

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本専攻博士後期課程では、大学の定める修業年限以上在学し、次のような能力・資質を備えた上で、7単位（修士課程における修得単位数含まず）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、博士（建築学）の学位を授与します。</p>		<p>本専攻博士後期課程では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような研究指導の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本専攻は、建築学におけるより高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担うことができる建築設計技術者・研究者・教育者となるために必要な研究能力を養成することを目的とした研究指導を行います。また、昼夜開講形態を採り、修学上の多様なニーズにも配慮します。</p> <p>教育課程全般を通して、ゼミ・個別指導・演習といった教育方法を効果的に組み合わせ、学生の理解を深めます。</p> <p>また、修了年次に提出する博士論文およびその発表をもって、教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>本専攻博士後期課程は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた者を求めます。</p> <p>修士課程修了レベルの知識・能力を有し、グローバル社会に貢献できる国際的通用性を備えた、より高度な建築設計技術者および自立した研究者となることを希望する者で、優れた資質を持ち、学問に対する意欲にあふれた者を受け入れます。</p>
A. 高い知性	<p>高い「理性」により、「真」の視点から建築的事象を理解するための高度な学識を有し、さらに新たに発見した「知識」との総合により問題を解決する研究能力を修得している。</p>		
B. 善美な情操	<p>地域の「美的・「歴史」的・「文化」的価値を理解できる高度な学識を有し、さらに新たに発見した価値との総合により、グローバルな視点から地域の伝統的文化的の創生に貢献できる研究能力を修得している。</p>		
C. 高雅な徳性	<p>地球環境・国家・地域社会において真に人間的な住環境を創生するために、社会的義務と責任を重んじ、グローバルな視点を持って社会において指導的な役割を担う「人格」を身につけている。</p>		
D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	<p>価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境の創生に貢献できる研究能力を修得している。</p>		